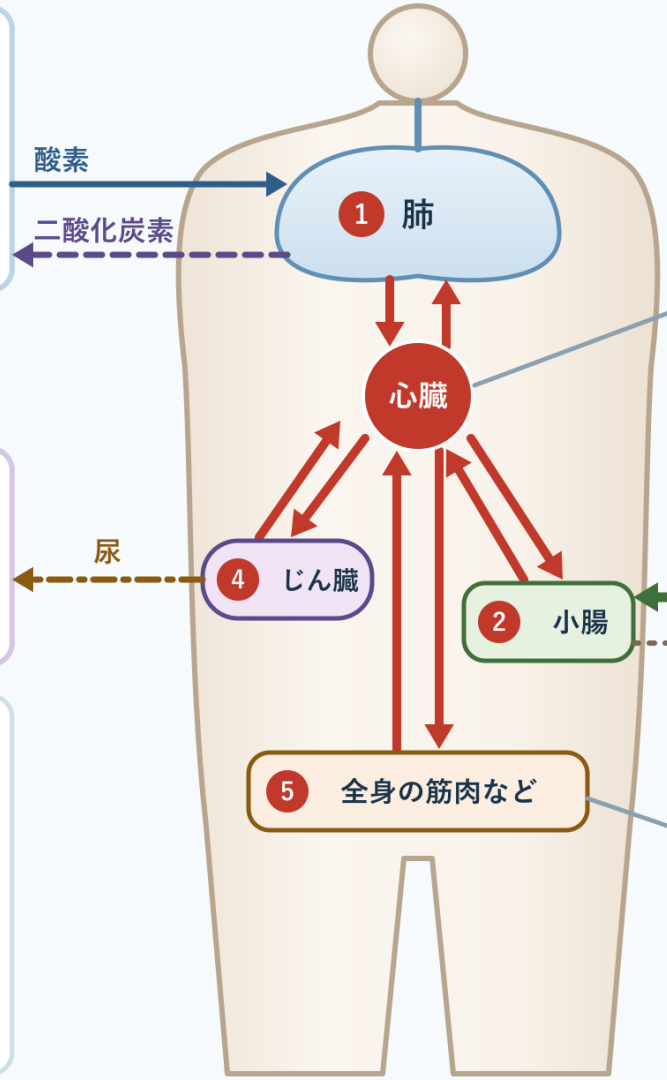
体の中のつながり（呼吸・消化・血液・排出）

呼吸・消化・血液の循環・排出は、体の中でどのようにつながって働いているか

1 呼吸（肺）

吸った空気の酸素が血液に入る。
血液の中の二酸化炭素は、
はく息で体の外へ出される。



3 血液の循環（心臓）

心臓が血液を送り出す。血液は
臓器へ行って、また心臓へもどる。
養分・酸素・二酸化炭素などを運ぶ。

4 排出（じん臓）

血液の中の不要な物をこし出して
尿をつくり、体の外へ出す。

2 消化・吸収（小腸）

口から入った食べ物は、胃や腸を
通る間に消化され、養分が小腸で
血液に入る。残りはふんになる。

線の見方

- 血液の流れ（太い線）
- 酸素（実線）
- 二酸化炭素（破線）
- 養分（太い実線）
- 尿（一点鎖線）
- ふん（点線）

5 全身で使う

筋肉などは、血液から酸素と養分を
受け取って使い、二酸化炭素と
不要な物を血液にわたす。

※ 模式図。臓器の形・大きさ・位置と血液の通り道は単純化した。胃・大腸・肝臓なども働いている。